

令和4年度第1回「ていねっていいね！区民の集い」

《議事録 概要版》

日時：令和4年6月29日（水）14:00～15:00

場所：手稲区民センター2階 区民ホール

【出席者】

出席：33名（44団体） ※随行者は除く。

欠席：10名（10団体）

【配布資料】

- 資料1 「ていねっていいね！区民の集い」設置要綱
- 資料2 令和4年度「ていねっていいね！区民の集い」運営委員会構成員名簿
- 資料3 「ていねっていいね！区民の集い」参加団体名簿
- 資料4 令和3年度「ていねっていいね！区民の集い」活動報告
- 資料5 ていぬ活用委員会規約
- 資料6 ていぬ活用委員会 令和3年度事業報告
- 資料7 手稲区地域防災事業者ネットワーク会議 令和3年度活動報告
- 資料8 ていぬ活用委員会 令和4年度事業計画
- 資料9 令和4年度 手稲区の目標と取組
- 資料10 令和4年度「ていねっていいね！区民の集い」年間計画

【議事内容】

1 次第1 開会

- ・役員及び運営委員の交代について（資料2により紹介）
- ・参加団体代表者の交代について（資料3により紹介）

【事務局説明 要旨】

- 「区民の集い」は、座長・副座長・運営委員長の役員を置く。
- 座長は手稲区連合町内会連絡協議会（以下、「区連協」という。）会長をもって充て、副座長及び運営委員長は座長が選任する。
- 令和3年11月に区連協会長が交代したことに伴い、稲穂連合町内会 平川会長が新たに座長に就任。規定により、座長が役員及び運営委員の選任を行った。
- 参加団体については、令和3年度末に北海道科学大学短期大学部が閉学したため、全54団体となった。

《資料1、2参照》

2 次第2 挨拶

【座長挨拶 要旨】

- 想像以上に長引くコロナ禍では、皆様も大変苦勞されながら、それぞれの活動を支えてこられたものと思う。
- このような中、「区民の集い」としては、2年ぶりに皆様とまた顔を合わせることができ、大変喜ばしい限り。
- 感染対策に気をつけながらも、少しずつ活発な地域活動を取り戻していけるよう、皆様と力を合わせていきたい。
- 本日の「区民の集い」は、多くの団体が参加される貴重な機会。気軽に意見交換したい。

「ていねっていいね！区民の集い」座長 平川 登美雄

【区長挨拶 要旨】

- 数年に及ぶコロナ禍においては、思うような活動ができず、地域や団体での親睦や交流も図られにくく、悩まれながらも、今日までその活動を支え、繋いでいただいたこと、心から敬意と感謝を申し上げる。
- 今しばらくは、ウイズコロナとして、感染対策と社会経済活動を両立させながら、様々な取組を模索し進めていくことになると思うが、少しずつ以前の日常に戻りつつあることはうれしい限り。
- 「区民の集い」は、手稲区における区民協議会として、区民が主役となって、まちづくりについて意見交換していただく場。本日多くの方が、“ふるさと手稲づくり”の推進のためにお集まりいただいていることは大変心強い。
- 手稲区としても、「ていねっていいね」の言葉に込められた、手稲への愛着や誇りを大切に、活動を支え連携しながら、未来へ続く手稲のまちづくりのために、貢献してまいりたい。

手稲区長 土井 勝雄

3 次第3 議事

(1) 令和3年度活動報告

① 令和3年度「ていねっていいね！区民の集い」活動報告

【事務局説明 要旨】

- 第1回「区民の集い」は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面での開催は困難となり、書面開催による議事報告を行った。
- 活動テーマは「安全・安心なまちづくり」と「区の魅力づくり」とした。
- 第2回「区民の集い」は、「安全・安心なまちづくり」のテーマに沿って区の防災事業との合同開催による「防災リーダー実務研修」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症に係る「まん延防止等重点措置」の期限延長に伴い中止とした。

《資料4参照》

※質問・意見等

特になし。

② ていね活用委員会 令和3年度事業報告

【ていね活用委員会説明 要旨】

- 5月26日に開催した「ていね活用委員会」にて、決議した内容を報告。
- 令和3年度における各イベントへの「ていね着ぐるみ」貸し出し件数は13件。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により多くのイベントが中止となり、令和2年度と同程度だった。
- 手稲区では、「ていねテーマソング」と「ていねダンス」を作成。ダンス動画にはていねが出演しており、動画は区ホームページでも視聴が可能。
- 北海道テレビ放送「イチオシ！」にて、ていねの生みの親を探すという企画があり、ていねが出演。
- 収支決算については、差引残額621,788円が令和4年度への繰越となる。

《資料5、6参照》

※質問・意見等

特になし。

③ 手稲区地域防災事業者ネットワーク会議 令和3年度活動報告

【事務局説明 要旨】

- 手稲区では大規模災害に備えて、区内の事業者や区役所、消防署などの関係機関で構成する「手稲区地域防災事業者ネットワーク会議」を平成28年2月に立ち上げている。
- 当会議で共有された情報や議論の内容は「区民の集い」に報告するとともに、意見や要望があれば当会議にフィードバックし、区民の集いと連携を図りながら災害に強いまちを構築していくこととしている。
- 令和3年度は、感染拡大防止の観点から、書面により開催した。
- 令和3年度は新規構成団体として、札幌市との防災協定やまちづくりパートナー協定の実績があり、手稲区においても交通安全運動などで連携している「イオンスーパーセンター手稲山口店」が加入した。

《資料7参照》

※質問・意見等

【山口団地連合自治会 質問】

- 手稲区地域防災事業者ネットワーク会議とは、具体的にどのような取り組みを行っているのか。

【総務企画課長 回答】

- 今までの取り組みとしては、年に1回程度、構成団体が集まり、各事業者が災害時にできることなどの情報共有を行っている。
- 平成27年度以降、少しずつ構成団体を増やしており、今年度も事業者数を増やしてネットワークを強化したいと考えているところ。

(2) 令和4年度事業計画

① ていぬ活用委員会 令和4年度事業計画

【ていぬ活用委員会説明 要旨】

- 活用事業では、各種イベントへのていぬ着ぐるみの貸し出しと、グッズの販売を実施予定。
- 管理事業では、ていぬ着ぐるみの維持管理（クリーニング、補修、動産保険の加入等）を実施予定。
- 情報発信事業では、手稲区のホームページ内にある「ていぬの部屋」において、ていぬの活動実績やダウンロードデータの公開を実施予定。
- 今年の秋頃までに、区役所1階にていぬグッズや活動記録等の展示コーナーを設置予定。
- 令和4年度収支予算は、新商品の制作なども予定しているが、前年度予算と同程度で1,271,798円を見込んでいる。

《資料8参照》

※質問・意見等

【手稲区青少年育成委員会連絡協議会 意見】

- ていぬ活用委員会では、学生や若い世代にも「ていぬ」を知ってもらうような活動をした方がいいのではないかという提案があったところ。
- 今年は新たなていぬグッズとして、ていぬデザインがプリントされたエコバッグを作成したので、ぜひ買っていただきたい。
- 手稲には「ていぬ」があると言ってもらえるよう愛着を持って取り組んでいきたい。

【地域振興課長 回答】

- 今年度は、少しずつイベントも再開されると思うので、そういった場面でグッズを販売させていただきたい。
- グッズ販売などご協力いただけるイベントや機会があれば、ご用命いただきたい。

② 令和4年度手稲区の目標と取組について

【事務局説明 要旨】

- 手稲区では「人にやさしいまちづくり」と「ふるさと手稲づくり」の2点を、住んでいてよかったと実感できるまちづくりの目標として掲げている。
- 目標の達成に向けて、「安心して暮らせるまちづくりの取組」、「子どもの健全な育成や健康寿命の延伸を支援する取組」、「地域活動の活性化を支援する取組」、「手稲区の魅力を発信する取組」の4つの取組を実施していく。

「安心して暮らせるまちづくりの取組」

- 地域、学校職員、区職員など関係機関と連携した避難所開設・運営の現地研修や、各町内会の防災リーダー等を育成するための研修などを開催するほか、災害時に自らの力だけでは避難することが難しい配慮が必要な方の避難支援に向けた、各地域での取組の支援などを実施。
- 地域防災事業者ネットワーク会議を通じて、防災に関する事業者間の連携強化を図る。

「子どもの健全な育成や健康寿命の延伸を支援する取組」

- 子育てサロンの運営支援や、子育て支援関係者とのネットワークの充実させるとともに、個別の子育てニーズに対応していく。
- 食育意識の向上を目指し、管理栄養士による支援や大学との連携による啓発活動を実施。
- 大学や企業、町内会と連携したウォーキングなどの運動習慣の普及促進といった「健康づくり事業」を実施。

「地域活動の活性化を支援する取組」

- 地域の活動や地域で活躍する人を区ホームページなどで紹介するほか、まちづくり活動の新たな担い手づくりを支援するため、町内会を対象とした研修会を実施。
- スポーツ交流を深める「スポーツ・レクリエーション祭」実行委員会の支援や、昨年度は初めてのオンライン開催となり、今年度は有観客での開催を想定している「ていね夏あかり」の実施など、地域活動支援の事業を実施。

「手稲区の魅力を発信する取組」

- 区民をはじめ、区民以外の方にも手稲区により興味を持ってもらうため、親子スキー教室や手稲山ウォーキングなどのイベントを通じた、区のシンボル「手稲山」の魅力発信や、貴重な自生植物を地域の皆さまと共に保全する活動を実施。
- 手稲区の魅力を発信し、区役所来庁者に親しみのある場を提供するため、情報提供コーナーをリニューアルする。
- 手稲区への愛着を深めてもらうため、「ていね」のオリジナルノートを作成し、区内の小学校新一年生に配布した。
- 「ていねダンス」やテーマソングのPRを通じて、マスコットキャラクター「ていね」の魅力を発信する事業を実施。
- その他「区役所窓口の利便性の向上」の取組として、区役所窓口の更なるサービスアップを目的として、区役所にお越しの方を担当窓口スムーズにご案内する「総合案内」と、身内を亡くされたご遺族の負担を軽減するため、亡くなった方に関する必要な手続きや担当窓口などをご案内する「おくやみ窓口」を開設する予定。

《資料9参照》

※質問・意見等

【手稲中央連合町内会 意見】

- 区役所窓口の利便性の向上について、おくやみ窓口の開設はいい取り組みだと思う。悲しみに暮れている家族が届出に行ったときにこうした窓口があることはいいことだと思う。

【総務企画課長 回答】

- おくやみ窓口については、7月下旬を開設目標として進めている。
- 現在、北区と清田区で先行して設置しており、7月下旬までには全10区に設置される予定。
- すべての手続きをワンストップでというわけにはいかないが、窓口の設置により、ご遺族の負担が少しでも軽減できるよう取り組みたい。

【稲積連合町内会 意見】

- 手稲区の魅力発信に関連し、前田1条5丁目（稲積公園駅裏）にナナカマドを街路樹として植えているが、そのうち1本だけが白い実をつける木が生えている。
- 白いナナカマドは珍しく、貴重なものなので、保全はもちろん、増やすことも含め考えてはどうか。
- ホームページ上にも載っているが、手稲区の魅力発信ということで検討し付け加えていただきたい。

【土木部長 回答】

- 土木センター内で情報確認し、貴重な街路樹を保全していきたい。
- 増やすことができるかどうかは、内部で確認させていただきたい。

③ 令和4年度「ていねっていいね！区民の集い」年間計画

【運営委員長説明 要旨】

- 今年度の活動テーマは、引き続き「安全・安心なまちづくり」と「区の魅力づくり」の2点としたい。
- 手稲区防災訓練が8月31日（水）に開催予定のため、例年同様に「区民の集い」としても参加協力したい。
- 第2回「区民の集い」は、「区の魅力づくり」をテーマとして、秋以降の開催を検討予定。

《資料10 参照》

※質問・意見等

特になし。

(3) その他

「てっぼく・ひろば」の現在の状況について報告

【事務局説明 要旨】

- 「てっぼく・ひろば」は、今後売却を予定。
- 民間による活用を図る「経済性」と、これまで区民に親しまれ区連協からも要望のあった「公益性」の双方の観点から総合的に評価し売却相手を決定する「公募提案型売却」を採用予定。
- 方法としては、購入希望者に土地の利活用方法を提案いただき、提案内容を審査して売却先を決定する。
- 昨年度、売却に向けて支障物件の調査を行った結果、旧校舎の底地部分に多数の杭や基礎等が残っていたため、これらの撤去を6月10日から開始しており、撤去の完了は10月頃の見込み。作業期間は状況により延長する可能性もある。
- 公募提案型売却の公募は、支障物件の撤去作業の終了以降に開始予定。
- 隣接する「自転車歩行者専用道路」は、これまでどおり通路として活用できる見込みだが、小学校が夏休みとなる7月下旬から整備のための工事を開始する予定。
- この整備は、安全に配慮しつつ整備作業期間も道路の一部を通行可能な状態で確保して、通行できるようにしながら工事を行っていく予定で、3～4カ月要する見込み。

《資料なし》

※質問・意見等

【稲積連合町内会 質問】

- 先日、てっぼく・ひろばの関係でチラシが入っていたが、今後の利活用に関して説明会を行うといったものだろうか。

【地域振興課長 回答】

- 6月10日から杭や基礎を撤去する工事が始まるため、これに先立って近隣に周知のためチラシを配布したものかと思われます。